2022年度 卒業後調査（卒業生・修了生）報告（一部抜粋）

調査概要

- 調査対象：藍野大学を卒業（修了）後、1年または3年を経過した者。
- 調査期間：2022年7月中旬～8月末。
- 調査内容：DPの獲得感や重要性の認識、学習や課題への向き合い方、有意義だと感じた授業や教育的支援、教育・研究活動に対する満足度、働いてみて感じた重要な能力や必要な教育・研究活動など。

基礎集計

・卒業生

学科	回答数
看護学科	2
理学療法学科	47
作業療法学科	5
臨床工学科	1
合計	55

・修了生

研究科	回答数
看護学研究科	2
合計	2

【卒業生用集計結果】

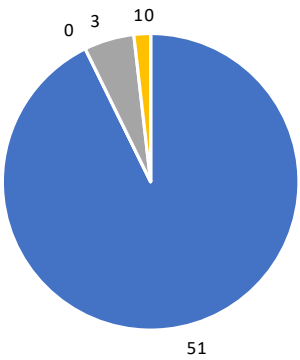
・卒業年

卒業年	人数
2018	5
2019	24
2020	3
2021	22
2022	1
合計	55

・職業経験年数

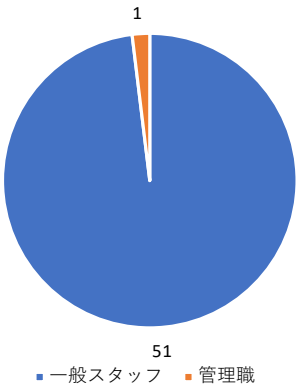
経験年数	人数
0	1
1	16
2	9
3	26
4	3
合計	55

・現在の所属



- 保健・医療・福祉施設に所属
- 大学・専門学校等に教員として所属
- 大学院等に学生として所属
- 保健・医療・福祉施設で働きながら大学院等に学生としても所属
- 大学・専門学校等で教員として働きながら大学院等に学生としても所属

・役職

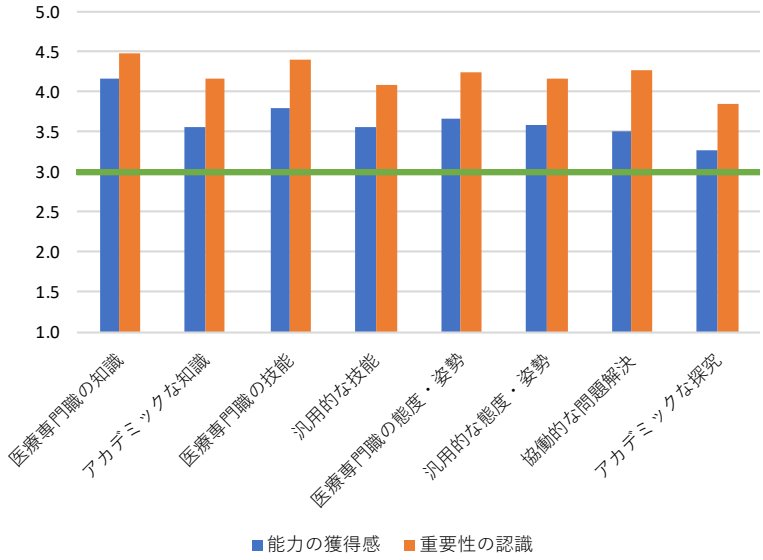


※管理職の役職名

・サービス提供責任者

・藍野大学で得たDP関連能力の獲得感とその重要性の認識　※５件法（当てはまらない:1～当てはまる:5）

	獲得感	重要性
医療専門職の知識	4.16	4.47
アカデミックな知識	3.56	4.16
医療専門職の技能	3.80	4.39
汎用的な技能	3.56	4.08
医療専門職の態度・姿勢	3.67	4.26
汎用的な態度・姿勢	3.60	4.18
協働的な問題解決	3.51	4.28
アカデミックな探究	3.27	3.84



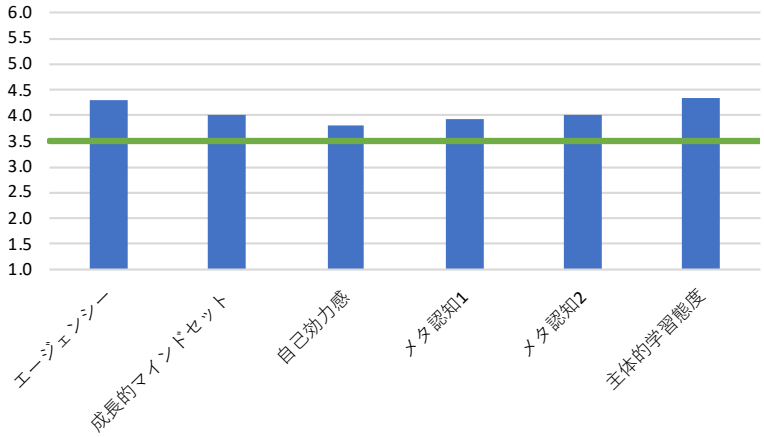
※質問方法の例

獲得感：藍野大学で、理学療法を実践するための専門的知識を習得することができましたか。

重要性：実際に働いてみて、理学療法を実践するための専門的知識を習得することが重要だと感じましたか。

・藍野大学で得た資質・能力、学習や課題への向き合い方　※6件法（全く当てはまらない:1～よく当てはまる:6）

	獲得感
エージェンシー	4.31
成長的マインドセット	4.00
自己効力感	3.80
メタ認知1	3.93
メタ認知2	4.02
主体的学習態度	4.33



※質問内容

エージェンシー：藍野大学で「学習したことを活かして、責任をもって活動したり、何かを決めたり選んだりすること」ができるようになりましたか?

成長的マインドセット：藍野大学で「自分の才能は生まれながらに決まったものではなく、伸ばすことができる」と思うようになりましたか?

自己効力感：藍野大学で「自分はうまく課題をすすめられる」と思うようになりましたか?

メタ認知１：藍野大学で「問題が生じたときに、課題への取り組み方をいろいろと変えてみること」ができるようになりましたか?

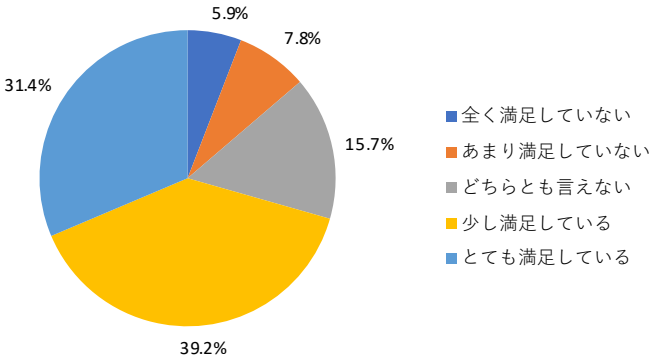
メタ認知２：藍野大学で「自分で最初に計画を立ててから課題をすすめること」ができるようになりましたか?

主体的学習態度：藍野大学で「課された課題を少しでも良いものに仕上げようと努力すること」ができるようになりましたか?

・藍野大学の教育・研究活動に対する全体的な満足度　※５件法（全く満足していない:1～とても満足している:5）

	平均値
教育・研究活動に対する満足度	3.82

※「とても満足している」「少し満足している」と回答した割合は70.6%



【修了生用集計結果】

・修了年

修了年	人数
2019	1
2021	1
合計	2

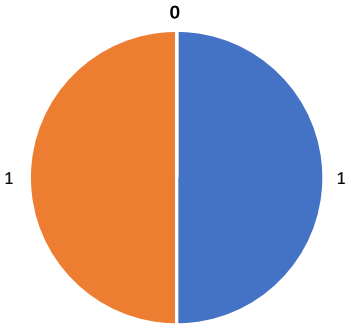
・看護師経験年数

年数	人数
10	1
20	1
合計	2

・教員経験年数

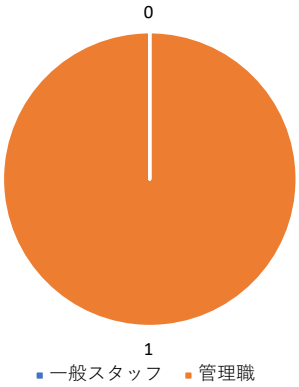
年数	人数
2	1
4	1
合計	2

・現在の所属



- 保健・医療・福祉施設に所属
- 大学・専門学校等に教員として所属
- 大学院等に学生として所属
- 保健・医療・福祉施設で働きながら大学院等に学生としても所属
- 大学・専門学校等で教員として働きながら大学院等に学生としても所属

・役職

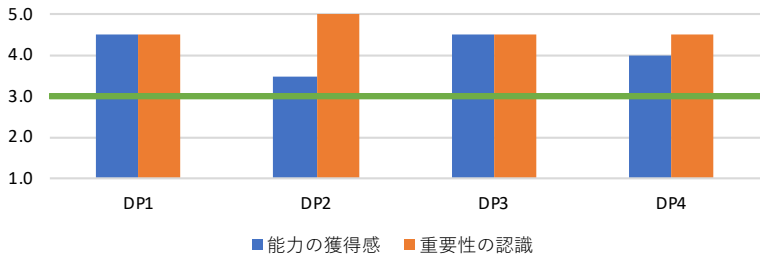


※管理職の役職名

・管理者

・藍野大学で得たDP関連能力の獲得感とその重要性の認識　※５件法（当てはまらない:1～当てはまる:6）

	獲得感	重要性
DP1	4.16	4.47
DP2	3.56	4.16
DP3	3.80	4.39
DP4	3.56	4.08



※各DPと質問内容の対応例

DP1：藍野大学で、高い倫理観に基づいた深い学識と識見及び豊かな人間性をもち、サービスを受ける者の視点に立った実践ができるようになりましたか？

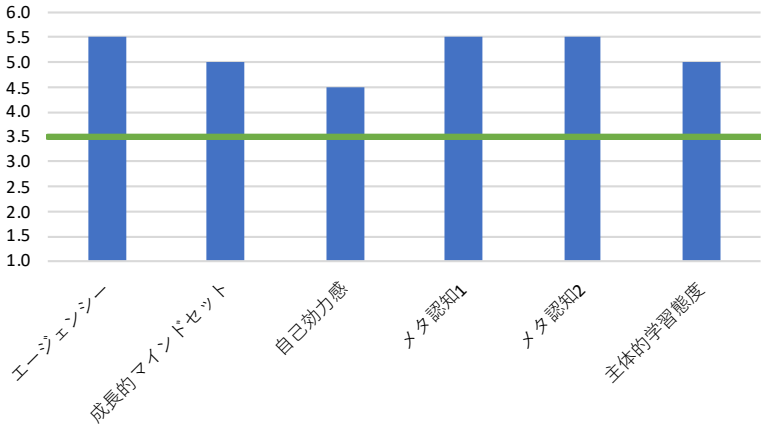
DP2：藍野大学で、学際的な視点とリサーチマインドをもって、実践の場での課題を発見し、保健医療福祉に関して深めた知識から、課題解決のための新たなケア技術やシステムの開発を試みることができるようになりましたか？

DP3：藍野大学で、看護専門職者として専門的役割を示すロールモデルとなって、指導力を発揮して教育的役割を果たすことができるようになりましたか？

DP4：藍野大学で、保健・医療・福祉のさまざまな領域で看護組織及び看護ケアをマネジメントし、関連多職種と連携し協働することができるようになりましたか？

・藍野大学で得た資質・能力、学習や課題への向き合い方　※6件法（全く当てはまらない:1～よく当てはまる:6）

	獲得感
エージェンシー	5.50
成長的マインドセット	5.00
自己効力感	4.50
メタ認知1	5.50
メタ認知2	5.50
主体的学習態度	5.00



※質問内容

エージェンシー：藍野大学で「学習したことを活かして、責任をもって活動したり、何かを決めたり選んだりすること」ができるようになりましたか?

成長的マインドセット：藍野大学で「自分の才能は生まれながらに決まったものではなく、伸ばすことができる」と思うようになりましたか?

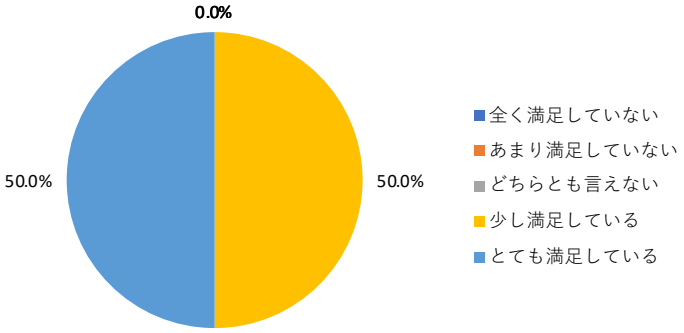
自己効力感：藍野大学で「自分はうまく課題をすすめられる」と思うようになりましたか?

メタ認知１：藍野大学で「問題が生じたときに、課題への取り組み方をいろいろと変えてみること」ができるようになりましたか?

メタ認知２：藍野大学で「自分で最初に計画を立ててから課題をすすめること」ができるようになりましたか?

主体的学習態度：藍野大学で「課された課題を少しでも良いものに仕上げようと努力すること」ができるようになりましたか?

・藍野大学の教育・研究活動に対する全体的な満足度　※５件法（全く満足していない:1～とても満足している:5）

	平均値
教育・研究活動に対する満足度	4.50

※「とても満足している」「少し満足している」と回答した割合は100.0%